

《各学年の特徴》

- 1年 登場人物の立場に立って、心情を考えている。
- 2年 登場人物の思いを共感的に考えることができるが、自分の経験を基に考えることについて個人差がある。
- 3年 登場人物の思いを共感的に考えることができる。発問に対し、自分ごととして考えるようになってきているが、児童によって差がある。
- 4年 登場人物の心情を基に自分の考えをもつことができる。話し合いを通して、自分の考えを深めることに課題が見られる。
- 5年 自分の考えをもつことができるが、考えを積極的に表現したり、相手の考えを受け止めながら、話を深めたりすることに課題をもつ児童もいる。
- 6年 自他を客観的に捉えることができるようになってきているが、積極的に関わろうとすることに差が見られる。

《道徳教育の目標》

- ・自他の生命を尊重し、人権尊重の心を培い、心身共に健康な生活をする。
- ・目標をもち、進んで物事に取り組み、粘り強くやり抜く。
- ・互いに助け合い、思いやりや男女平等の心をもつ。

育てたい力（課題）

- 1年 周囲の人と自分のことを考えて、生活しようとする態度。
- 2年 自分と関わりのある人に対し、優しい心で接しようとする態度。
- 3年 強い意志をもち、粘り強くやり抜く力。
- 4年 友達と話し合い、考えを深めることで、自分と異なる意見や立場を尊重する態度を育てる。
- 5年 児童が多様な考えに触れ、自分と異なる意見や立場を尊重する態度。
- 6年 児童が多様な人々と触れ合い、自分と異なる意見や立場を尊重する態度。

☆授業改善の具体策☆

- ・紙芝居 ・影絵 ・人形劇 ・ペーパーサート ・ICT 機器の活用
- ・考える切実感のある発問 ・自由な思考を促す発問 ・物事を多面的・多角的に捉える発問 ・ペア対話 ・グループ対話 ・討議形式 ・ワークシート
- ・動作化 ・ホワイトボードの活用 ・日常の生活問題やメディアの説話

1年 重点項目 (A) 節度、節制

題材と日常生活とを結び付けながら継続して指導し、具体的な場面を思い浮かべながら考えられるようにする。

2年 重点項目 (B) 親切・思いやり

題材や他教科等の活動、日常生活を結び付けながら指導し、自分の態度を振り返ることができるようにする。

3年 重点項目 (A) 希望と勇気、努力と強い意志

自分の生活を振り返り、よりよい自分の姿を考えられるようにする。「心しなやかに」を使い、児童が道徳的価値を意識できるようにする。

4年 重点項目 (B) 相互理解、寛容

題材を読み深め、様々な意見や立場があることに気付けるようにする。その上で、自分とは異なる考えがあることを受け入れる経験を積ませる。

5年 重点項目 (B) 相互理解、寛容

グループでの対話を通し、考えの多様性を理解し、自分と異なる意見や立場を尊重し、相手の立場になって適切に対処できる経験を積ませる。

6年 重点項目 (B) 相互理解、寛容

普段あまり関わらない課題について、日常の生活問題やメディアの説話等、様々な資料を活用することで、身近な問題として理解させ、考えさせる。